

第36回ナノサイエンスデザイン教育研究センター運営委員会議事要旨

日 時：平成24年2月21日（火）午後3時30分～午後4時30分

場 所：本部事務機構1階入札室

出席者：赤井委員長（理）、原田（理）、岩井（医）、藤原（工）、森田（工）、
宮坂（基）、吉田（基）、保田（電顕）、伊藤（ナノセンター）、小川（ナノセンター）

連絡事項

委員長から、前回（1月17日）開催の第35回運営委員会の議事要旨（案）については、各委員に意見照会し、特に意見がなかったことから、資料2のとおり確定した旨の報告があった。

【報告事項】

1. 社会人教育募集説明会(2/3)の報告について

委員長から、2月3日に開催した平成24年度「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム」社会人教育プログラム募集説明会について、参加者の状況等の報告があった。

2. 社会人教育の応募状況について

委員長及び小川委員から、平成24年度「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム」社会人教育プログラムに係る第一次募集（2月24日募集締め切り）の応募状況について報告があった。また、今後、3月10日を募集締め切りとして第二次募集を行う旨、報告があった。

3. 2012 国際ナノテクノロジー総合展（nanotech2012, 2/15-17）の報告について

委員長及び伊藤委員から、センターが出展し2月15日～17日に開催された2012国際ナノテクノロジー総合展について、ミニ講義等の出展内容、参加者数等の報告があった。

4. 東京オフィスの継続について

委員長及び伊藤委員から、貸借契約が本年度限りで終了する大阪大学東京オフィス（東京工業大学田町キャンパス内キャンパスイノベーションセンター：CIC）について、平成24年度の社会人教育を実施するため総長裁量経費にて貸借費用の一部が支援されること及び他部局も広く活用できるための教室スペースのレイアウトを変更したことの報告があった。また、利用実績を増すことにより、平成25年度以降の東京オフィスの継続を大学執行部に求めていくこととするため、同オフィスを幅広く利用願いたい旨の協力依頼があった。

5. 総長ヒアリング（センターの平成25年度概算要求・留保ポスト要求）結果について

委員長から、1月23日に実施された総長ヒアリングの内容及び大学留保ポスト要望の結果について報告があった。

6. 第50回ナノプログラム実施委員会(2/21)の報告について

伊藤委員から、席上配布資料に基づき2月21日開催の第50回ナノプログラム実施委員会で検討した（1）平成24年度ナノプログラムの具体的なコース設定、内容、シラバスの作成、（2）文系学生向けの特別カリキュラムに関する提案、について報告があった。

7. 外部評価について

委員長から、センターの外部評価について、現在コンソーシアムに参画いただいている企

業の方を中心に実施しているインタビューがほぼ終了し、今後とりまとめを行うこととしている旨の報告があった。

【審議事項】

1. 次期副センター長の指名について

委員長から、次期副センター長として荒木勉基礎工学研究科教授、藤原康文工学研究科教授、伊藤正ナノサイエンスデザイン教育研究センター特任教授を指名する旨説明があり、審議の結果、承認された。

2. 教員人事について

委員長から、資料3に基づき1名の特任教授（非常勤）の採用（継続）について説明があり、審議の結果、承認された。

3. センター運営委員会規程の一部改正について

委員長から、資料4に基づき平成24年度から本学の運営組織「室」が廃止されることに伴い、センター運営委員会規程を一部改正する旨説明があり、審議の結果、承認された。

4. （豊中）文理融合型総合研究拠点施設について

委員長から、資料5に基づき平成24年度から建設が始まる予定の（豊中）文理融合型総合研究拠点施設について、現段階では300㎡がセンターのスペースとして予定されているが、今後同施設を設計するうえで、具体的に必要となる面積、仕様等の提出が求められており、センター活動拠点350㎡及びナノサイエンス総合デザイン力育成事業250㎡並びにこれに必要な仕様を提出する旨説明があり、審議の結果、これを了承した。

5. 平成24年度高度副プログラムの文系カリキュラムについて

委員長及び伊藤委員から、資料6に基づき理工系副プログラムの文系学生の履修が少ないため、学際融合教育研究センターから理工系副プログラムの工夫を求められており、その対応として、高度副プログラム（博士前期課程）について文系学生には「科学技術移転論」を開講することにより、理工系に強い関心を持つ文系学生のプログラム受講を促していくこととする旨説明があり、審議の結果、これを承認した。